

## 第5回三沢市協働のまちづくり推進懇話会概要

日 時：平成25年12月18日（水）

18時30分～19時40分

場 所：市民活動ネットワークセンターみさわ第2会議室

出席者：10名

### 次 第

#### 1. 開会

2. 出席者
- |             |              |
|-------------|--------------|
| ・名久井 正廣（会長） | ・五十嵐 耕司（副会長） |
| ・金淵 恵       | ・小比類巻 隆      |
| ・吉家 裕行      | ・福澤 定岳       |
| ・高田 弘明      | ・内野 尚美（事務局）  |
| ・吉田 彰博（事務局） | ・細田 貴子（事務局）  |

#### 3. 今回の検討事項

### ①市民活動ネットワークセンターみさわ利用者アンケート（11月分）の分析結果の公表について及び、1月分アンケートの実施について

#### ☆事務局説明

- ・11月分のアンケート結果を円グラフなどにしてまとめ、さらにコメントなどを入れながら整え、ホームページに載せて公表する。
  - ・いただいた意見に対する対応は、できるものから随時行っていく予定。
  - ・1月分のアンケートは、前回の懇話会での意見を反映し、ネットワークセンターについて、どのように考えているかについての項目を入れた。
- 皆様のご意見をお聞かせください。

#### ☆各委員からの意見

### ○アンケート結果のホームページ掲載について

- ・アンケート結果は、どのような感じでホームページに掲載されるのか？
- 市のホームページの中で市民活動ネットワークセンターに関連している場所に、何回かアンケートを行う予定のうちの第1回目の結果として公表する予定。
- ・見せ方として、そのページにたどり着くまでにあまり階層が深くならないように工夫をしてほしい。
  - ・ビジュアル的にわかる様なものもいい。更新したことが分かるトピックスがあればいい。
- 更新すると必ずトップ画面に更新情報として出てくるようになっているので、心配されているような、更新しても階層が深くてたどり着けないという事はないと思う。

### ○アンケートを行った後のことについて

- ・アンケート結果も大事だが、そもそもの目的である、ネットワークセンターをPRするような形になるようにして、最終的には「皆さんもご利用ください」という流れに持っていくことが必要。
  - ・市民活動を知ってもらうことがメインなので、このアンケート結果だけが急に掲載されると、単に「部屋を借りてやっているだけ」というイメージになる。ネットワークセンターではこういう事をやっていて、そこを利用している方々からアンケートをとったら、このような結果になったが、実際に使っている人の考えている事と、市が意図している事が若干違う、という事をわかってもらえるようにした方がいい。
- どうしてこのアンケートを行ったのか、その過程が分かるように工夫していきます。

### ○いただいたご意見に対する対応について

- ・アンケートの取りっぱなしではなく、改善策がいつ出てくるのか、その辺も公表していくべき。
  - ・すぐには対応出来なくても、今後の方針のようなものを載せれば片手落ちにはならなくていいのではないか。
  - ・集めるだけ集めてなんの返答もないというのはよくない。
- 一気に返答するのは難しいので、徐々に行っていきたい。予約方法に関しては検討しているが、なかなか難しい状況。
- ・そもそもこれは、答えるためにとったアンケートではなく、ネットワークセンターの利用者の増加や活用・利用の向上のために意見を伺うためのアンケートなので、そのためにアンケートを行っています、という事を見せることや、その1回目のアンケートの結果がこれで、今後もアンケートを続けて行く予定であること等を伝える、それによって一定の意見が集まれば、今後その対策について考えて行きたい、という事でもいいのではないか。
  - ・現在アンケートをやっている状況であるという事を知らせる事が重要。
  - ・少数人数の意見で、すぐにルールを変えるということまでは出来ない。
  - ・設置した目的と違う目的で使っている人が多い中でのアンケート結果なので、そこまで急がなくてもいいが、向上のために意見を聞いて積み重ねて行き、ある程度の形が出来たら実施に向かっていくという事でいいのではないか。

### ○利用団体に対する啓蒙活動について

- ・各団体の中でも、ホームページを作っていないような小さな団体のグループ紹介のため、「私たちはこういう活動をしています。ネットワークセンターをこういう風に使っています。」というものを作って毎月更新していき、その団体の方々からのアンケートとして紹介するという

形もおもしろいかと思う。こちらから働きかけて、グループの活動をもっと露出させることで、やる気を出してもらえるのではないか。

- ・ 入口に各グループの活動状況の写真を貼ったりしてもいいと思う。自分たちの団体が紹介されたとなるとモチベーションも上がると思う。
- ・ なかなか自分たちで PR するというのは出来ない。出来る団体は既に HP を作っている。こちらから掘り起こして取材しなければならないのかな、とも思うが、取材するとなると、なかなかそれも難しい。
- ・ 自分たちで楽しんでいるのでいい、と言う団体もある。活動内容を発信したいという団体は、自分たちでマックテレビなどに依頼して出演しているので、まずは希望する団体だけでもいいのではないか。
- ・ 希望する人が増えてきたら、PR しなくてもいいと思っていた人たちもやろうという気になるかもしれない。

### ○1月に行うアンケートの内容について

- ・ 1つのグループが何人くらいで使っているのかが分かるといいのではないか。2人のグループが多いのか、10人のグループが多いのか、それによって用意する備品などを揃えるときの資料になると思う。  
(例：今日は何人をご利用ですか?)
- ・ 何回目のアンケートかがわかるように「第2回」など付け加えた方がいい。(同じ内容のアンケートだと思われないように)

### ②「ファシリテーター養成講座」について (2月22日開催予定)

#### ☆事務局説明

- ・ 前回の懇話会を受けて、継続的に呼びやすい方ということで、「あおもりNPOサポートセンター」の三澤氏を講師にお招きし、開催することとした。

→たたき台となるチラシの案を見て、ご意見をお願いします。

#### ☆委員からの意見

##### ○チラシの内容について

- ・ 学校の単位がもらえるからということで、参加する高校生がいるかもしれない。

→対象は高校生以上。高校にもチラシを配る予定。

- ・ 定員(30名)について、申し込み順なのか抽選なのか?

→先着順。(チラシにも先着と記載)

- ・ もし定員を超えた希望者が来た場合は、断るのではなく、見学もOKとするような声掛けが必要。団体から何名とかの制限はどうするのか。

→応募が殺到するという事は考えていなかったが、全体のバランスを見ながら対応したい。

・受付はいつからなのか、記載した方が良い。(締め切りも同様)  
→チラシは年が明けてから配る予定だが、12月26日に配布される広報みさわ1月号に、講座開催の情報を掲載したので、広報誌が手元に届いた時点で実質的には受付開始になる。

- ・長時間行うので、何をやるのか、カリキュラムを載せた方がいい。
- ・お昼を挟むので、「お昼については各自ご用意ください」というような一言が必要。
- ・「県民カレッジ認定講座」としてできないか？
- ・「初級編」などと書いてあれば、受ける人がレベルを選べる。
- ・受講者には三沢市から「初級ファシリテーター認定証」を差し上げます、というような工夫をすると、やる気が出ると思う。「受けた後の充実感も必要。」
- ・三沢市認定となれば、履歴書にも書けるから、就職活動にも役立つかもしれない。

- ・「ファシリテーター」という言葉が一般的に知られていないので、分かりやすくする必要がある。
- ・「ファシリテーター」を知らなくても、認定証が欲しい、という人が興味を持ってくれるかもしれない。入口はどうしても、参加するきっかけとなればいい。

- ・継続していくのであれば、「翌年度には中級コースを行う予定です」という一文を入れてはどうか。
- ・「三沢市の各種講座で、ファシリテーターができる！」という特典を付けて、三沢のファシリテーターとして活躍してもらおうなどの長いビジョンで行えばいいと思う。

→これらの意見をまとめ、チラシを作り、配布していきたい。

☆次回の日程について・・・平成26年1月22日(水)を予定。

#### 4. 閉 会